

登山月報

第5回山岳スキー競技世界選手権大会	1
平成21年度第2回理事会・臨時総会	2
柳澤昭夫さんを悼む	5
新連載 Mountain World 第17回	7
平成21年度競技委員会総会	8
JMA、寄贈図書	9
スティーブ・ロング講演会のお知らせ	12

第5回山岳スキー競技世界選手権大会参加報告

2010年3月1日から6日までの日程でフランスとスペインの国境の隙間にある小国、アンドラで第5回山岳スキー競技世界選手権が開催された。アンドラはピレネー山脈の中にある2500-3100mの山が連なり冬はスキー場がにぎわっており、そのスキー場の周辺から山には入って競技が行われた。

今回は、昨年の日本選手権大会成績優秀者から構成される7名の選手+応援団2名+役員1名(私)で今までにない大型選手団となった。当初、男子参加希望者が3名で、2名で組むチーム戦に一組しか出られないので、男子は藤川健、三浦裕司、伊藤吉昭、の北海道組と平出和也の4名、女子は間瀬ちがや、堀部倫子、伊藤真由恵の3名となった。他の上位者入賞者は、個人的事情で参加しなかった。

レースは、登りのみのバーチカル、個人レース、二人で走るチームレース、リレーの4種目各男女とジュニアのカテゴリーで実施された。

個人：前夜からの雪に加え濃い霧が山全体を覆う最悪の天候の中、当初のコースを短縮して実施された。それでもスタート直前まで雪崩れそうな斜面に爆薬を仕掛けて雪を処理したりしてコースを開いた。約13km・標高差1500mに設定されたコースの



アンドラ個人戦ルート

男子トップはフランスのプロレント・トロイレで記録は1時間30分50秒という驚異的な速さだった。日本人選手は藤川健選手の72位(2時間21分06秒)が最高。平出和也選手73位2h32m22sec、伊藤吉昭選手75位2h42m:47sec、三浦裕司選手76位2h47m48sec(全出走者85名)、女子は同じコースで行われ、一位はフランスのラエティチア・ロー選手、記録は1時間48分49秒、日本人選手は、間瀬ちがや選手2h52m22sec、堀部倫子3h39m56sec、伊藤真由恵選手3h40m46sec(レース途中タイムアップであったがペナルティー30分を課して完走となった)で全員完走した。男子、女子が同じコースで実施されたので男女を比較してみると、女子のトップの記録は男子の42位になる。ちなみに日本人男子最高位72位の藤川君の記録が女子の24位に相当する。世界のレベルは高い。

チーム：標高差230m距離23kmの長距離で、しかも2回目の登りは1000mを越す長大な登り(写真参照)やスキーを担ぐセクションは標高差100m余をアイゼンを着けて急な雪壁を登り、その先の下りは急峻なルンゼを滑るというダイナミックなレース設定であった。霧で視界が不良の中レースがスタートしたが、この長大なコースを1位のペレイレ、



ゴールした日本女子チーム

ブランク組(フランス)は2時間14分54秒で走った。日本人選手は(45組出走)37位藤川健・平出和也組3時間33分52秒9、39位伊藤吉昭・三浦裕司組3時間44分36秒8。女子も同じコースで争われ、日本人選手は、間瀬ちがや・堀部倫子組が(15組出走13組完走)最下位だが13位4時間50分37秒8で完走を遂げた。

リレー：標高差180m距離1.8kmの周回コースに設定され、日本は男女とも最下位だが完走し国別ポイントを稼いだ。

バチカル：標高差880m、距離6km男子83名出走、1位キリアン・ジョルネ-ブルガダ(スペイン)39分50秒8、72位伊藤吉昭61分14秒5、73位藤川健61:42.8、77位平出和也66:26.5、女子(37名出走)1位ロベルタ・パドレンチニ(イタリア)48:25:5、30位間瀬ちがや67:48.9、31位伊藤真由恵67:54:5、34位堀部倫子78:26.9

総評

国別ランキング：日本は参加23カ国中15位(296ポイント)で以前の大会より上位につけた。これは男子4名女子3名で全種目に参加出来たことが理由である。

ようやく、ヨーロッパのアルプス周辺強豪国、そのほかのヨーロッパに次ぐ北米と並ぶ第3グループの一端に位置することができた。今回、アメリカ合衆国、カナダなどが力をつけてきたのが印象に残った。アジアからは、他に韓国、中国が参加したがともに選手数が少なくタイムも最下位ないし完走でき

ず、日本だけがアジアからは唯一戦列に加わっている。今回初めて選手以外に2名が参加したが、観戦を楽しんでくれたようで、競技の裾野拡大には非常に効果的なので、今後も歓迎したい。

今後の課題

まず選手強化、日本選手の実力はヨーロッパのトップ国と比べると比較にならない。そこまでに達するのはかなり難しいが、少なくとも今回躍進の北米並には追いつきたい。

そのためには、現在の選手のトレーニング強化や合宿、特に高地合宿を取り入れたい。アンドラで上位選手らに聞いたところ、日常的に3000mあたりまで登り、トレーニングをしているとのことであった。日本選手の走りを見ても体力的にそれほど違わないと思えるのに、走ると大きく引き離される理由の一つが高所トレーニングにあると思われる。またジュニア選手(15-23才)の参加も、競技普及の裾野を広げることに繋がるし、国別ランキングのさらなるアップがねらえるので、大いに進めたい。選手強化・競技普及には競技部各位と各県連の協力を求めたい。次回は来年2011年にイタリアで開催が予定されているので、強化への取り組みはすぐにでも始めなければならない。また競技人口拡大のため、ジュニア選手の発掘や複数のレースの実施にも取り組みたい。最後に、ヨーロッパでの1週間に及ぶ大会に全額自費で参加してくれた選手各位と、支援して下さいた日山協事務局に感謝したい。

(山岳スキー競技小委員会 笹生博夫)

平成21年度第2回理事会ならびに臨時総会を開催

第2回理事会

開会：社団法人日本山岳協会平成21年度第2回理事会は平成22年3月14日(日)午前10時30分に日本青年会館ホテルで開催された。〈理事会定数32名(定足数22名)、出席26名、委任2名〉

出席者：田中会長(埼玉)、内藤副会長兼専務理事(特別)、神崎副会長(特別)、本木副会長(東京)、小野(北海道)、小島(宮城)、清野(山形)、仙石(栃木)、西内(茨城)、佐藤(群馬)、高山(千葉)、堀井(神奈川)、青木(山梨)、遠藤(新潟)、牧野(福井)、安藤(愛知)、堀井(岐阜)、亀尾(鳥取)、天津(島根)、木村(香川)、工藤(熊本)、野田(鹿児島)、尾形(特別)、寺内(特別)、相良(特別)、

長谷川(特別)各理事 以上26名
(委任者)中島副会長(兵庫)、遠山(和歌山)、永井(特別)、北山(特別) 以上4名
(同席者)岡本監事(岡山)

田中会長挨拶：

年度末のお忙しい中での理事会です。公益法人化の課題や、50周年記念事業、競技全般の普及・指導など、重要な多くの審議事項を限られた時間の中ではありますが、十分に審議をして頂き、総会に臨みたい、と挨拶。

議事役員の選出：定款に従い田中会長を議長に選出

議事録署名人の選出：定款により堀井啓介(岐阜)理事及び仙石富英(栃木)常務理事を指名

議事：

(1)第1号議案 平成21年度事業経過報告について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

◎第1号議案、異議なく提案通り承認。

(2)第2号議案 平成21年度会計経過報告について

相良常務理事より議案書に基づき、2月28日までの収支報告、一般会計、特別会計の明細説明が報告された。

◎第2号議案、異議なく提案通り承認。

(3)第3号議案 平成22年度事業計画(案)について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、各専門委員会の担当常務理事から補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

野田：国体の競技運営員及びC級審判員の資格認定について、岳連が受験をお願いして費用負担までして受けてもらっている現状を鑑み、C級審判員の認定を考慮して貰えないか。

高山：C級審判員の資格は、誤審を防ぐために設けた資格制度なので、その辺のところをご理解いただきたい。

◎第3号議案、提案通り承認。

(4)第4号議案 平成22年度収支予算(案)について

相良常務理事より11月の臨時理事会で承認いただいた平成22年度予算編成方針案に基づき、収支均等を原則とした収支予算及び50周年記念事業と中高年安全登山指導者講習会事業を特別会計にしたことについて説明。

◎第4号議案、異議なく提案通り承認。

(5)第5号議案 平成22年度共済会事業(案)について

尾形事務局長より議案書に基づいて説明した後、内藤副会長よりこれまで各岳連支援として交付していた広告費支出は、財政的に厳しくなってきたので、無くした。その分、安全登山推進費支出を増額したのでこちらの事業費を活用していただきたいと補足。

清野：共済会加入者の拡張に協力してきたのだから双方(広告費及び安全登山推進費支出)で100万の減額とは如何なものか。岳連支援の交付金は従前通りにして頂きたい。

内藤：収入の確保が心配のところがあり、苦肉の策で減額した。公益法人化を進める中で会費の検討も進めて公平化を図っていききたい。共済会加入者が目標の5万人突破になれば、対処を再考したい。

◎第5号議案、提案通り承認。

(6)第6号議案 公益社団法人化工程(案)について

内藤副会長より移行期間ぎりぎりの平成25年12月1日から新公益法人としてスタートするためには、どう言う手順で準備を進めなければならないか議案書の工程表で説明。

◎第6号議案、異議なく提案通り承認。

(7)第7号議案 創立50周年記念事業募金及び事業計画(案)について

尾形事務局長より議案書に基づいて一連の記念事業内容及び募金計画について説明。

小野：全国クライミング高校生大会のエントリー費収入予算が多額だが、何名のエントリーを予想しているのか。また、高体連登山専門部はどのような関わりなのか。

高山：選手の募集定員は160名。学校対抗の団体戦もあるのでチームのエントリー費も予算に入れてある。高体連登山専門部とは連携を取って進めている。

◎第7号議案、提案通り承認。

(8)第8号議案 日山協ドーピング防止規程の改定(案)について

堀井常務理事より議案書に基づいて説明。

◎第8号議案、異議なく提案通り承認。

(9)第9号議案 日本山岳グランプリ顕彰規程(案)について

尾形事務局長より議案書に基づいて説明。

◎第9号議案、異議なく提案通り承認。

報告：

(1)国民スポーツ登山振興基金特別積立金の取り崩しについて

(2)日山協登録選手規程の改定(案)について

(3)第49回全日本登山体育大会について

(4)会長・副会長選考委員会について

(5)賠償責任特約保険の件について

閉会：12時40分に閉会が宣言された。

臨時総会

開会：社団法人日本山岳協会平成21年度臨時総会は同日、13時35分に開会された。〈会議の成立状況：定数56名(定足数38名)出席36名、委任19名〉

出席者：田中会長(埼玉)、内藤副会長兼専務理事(特別)、神崎副会長(特別)、本木副会長(東京)、小野(北海道)、小島(宮城)、清野(山形)、尾形(福島)、仙石(栃木)、西内(茨城)、佐藤(群馬)、

高山（千葉）、青木（山梨）、西田（長野・代理）、松本（富山）、牧野（福井）、滝田（静岡）、安藤（愛知）、堀井（岐阜）、伊藤（滋賀）、粟飯原（京都）、飛田（大阪・代理）、亀尾（鳥取）、天津（島根）、蓬郷（岡山）、木村（香川）、足達（福岡）、多田（佐賀）、工藤（熊本）、後藤（大分）、刃賀（宮崎）、野田（鹿児島）、尾形（特別）、寺内（特別）、相良（特別）、長谷川（特別）

（委任者）中島副会長（兵庫）、下山（青森）、高橋（岩手）、佐々木（秋田）、堀井（神奈川）、遠藤（新潟）、村田（石川）、亀井（三重）、吉村（奈良）、遠山（和歌山）、京オ（広島）、小笠原（山口）、田福（徳島）、白石（愛媛）、市村（高知）、溝上（長崎）、田場（沖縄）、永井（特別）、北山（特別）

（同席者）岡本監事（岡山）

田中会長挨拶：

年度末のお忙しい中での臨時総会です。公益法人化の課題や50周年記念事業など、多くの重要な審議事項を限られた時間の中ではありますが、十分に審議をして頂きたい、と挨拶。

議事役員の選出：定款により田中会長を議長に選出
議事録署名人の選出：定款により滝田博之（静岡）及び西内博（茨城）正会員を指名

議事：

(1)第1号議案 平成21年度事業経過報告について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

飛田：共済会報告のS/MIME暗号化通信の実施とは何か。

西内：日山協事務局と山岳共済事務センター間で山岳共済会員の個人データをやり取りする場合、暗号化して行っている。

◎第1号議案、提案通り承認。

(2)第2号議案 平成21年度会計経過報告について

相良常務理事より議案書に基づき、2月28日までの収支報告、一般会計、特別会計の明細説明が報告された。

松本：退職金引当金の特定預金取崩収入の表記について参考に聞きたい。

相良：退職金支払予定金額を経費として計上して預金しておき、支払が生じた時は、その預金を一旦取崩して一般会計に戻して支払うので、両方を取崩す勘定処理である。

◎第2号議案、提案通り承認。

(3)第3号議案 平成22年度事業計画(案)について

尾形事務局長から資料を事前配布しているので、詳細説明は割愛し、各専門委員会の担当常務理事から補足説明の後、質疑を受けたいと報告。

粟飯原：事業計画及び予算原案の基本方針案が提示されていない。総会が2回行われるようになって時間と経費が無駄である。他の競技団体でも2回開催しているのか。

尾形：基本方針案については、資料の添付忘れて申し訳ない。後日お送りさせて頂く。総会の2回開催は他の競技団体でも実施している。現状では1日に理事会と総会と云う効率の悪い会議運営を強いられているので、5月の決算理事会と通常総会（決算総会）は、総会出席の正会員の方にも午前中の理事会から出席して頂き、同様議案の説明を傍聴して貰って、効率良く運営しては如何か、提案したい。また、経費負担についても旅費支給など検討させて頂きたい。

内藤：予算総会と決算総会の2回開催は、そう云う仕組みになったので仕方がない。効率の良い会議運営ができるように会議の形態を整備していきたい。経費負担については、現状では予算に計上していないが、補正予算等で補填できるか検討したい。理事の代理はきかないので、正会員への委任は出来ない。

飛田：6月のスポーツクライミング上級指導員養成講習会は、「アルパイン資格保有者の」とあるが、これは特別措置なのか。

鈴木（永井代理）：22年度の特例として実施する。

飛田：指導の技術用具の研究及び指導・競技合同研修会の趣旨を伺いたい。

鈴木：技術用具の研究は、懸垂下降時等のロープ結束の強度についての諸説に対して、指導委としても検証しようとするものである。合同研修会は、スポーツクライミングの指導員養成については、指導委が専門ではないため、競技委と協力してやっていこう、と云う趣旨である。

◎第3号議案、提案通り承認。

(4)第4号議案 平成22年度収支予算(案)について

相良常務理事より収支均等を原則とした収支予算及び50周年記念事業と中高年安全登山指導者講習会事業を特別会計にしたことについて説明。

飛田：JOC特別会計が前年対比で300万の減額になっているのは何故か。中高年安全登山指導者講習会の予算が490万に増額されているのは何故か。普及事業費支出が前年対比で600万アップしている

中味の説明を願いたい。

相良：JOCの補助金は、あくまでも希望的数字でこれから交渉に入って固まる。

普及事業費支出は、予算の前年対比ではほぼ同額である。21年度の実績は2月までの実績で、これからの支出が見込まれる。

尾形：中高年安全登山指導者講習会は、22年度から枠組みが変わり、これまで主管県教育委員会が行ってきた会計を日山協が担当することになったため、このような特別会計の計上となった。

松本：予算総会なのだから各科目の算定基礎額など詳しく説明願いたい。50周年記念事業の収支予算についても説明願いたい。

栗飯原：入場料や販売代金等の税金はかからないのか。

伊藤：中高年安全登山指導者講習会の受講者が少なすぎる。参加者が集まる手立てを講じていただきたい。

松本：ジュニア登山教室の予算立ては、募集人員数で立てるべきではないか。募金活動はどのように展開するのか説明願いたい。

内藤：募金については、皮算用の中身を精査した上で、日山協の顧問、役員、参与及び各県の役員の方々などにご協力を頂いて目標額を達成したい。

◎第4号議案、提案通り承認。

(5)第5号議案 平成22年度共済会事業(案)について

尾形事務局長より議案書に基づいて説明の後、これまで各岳連支援として交付していた広告費支出は、財政的に厳しくなってきたので、無くした。その分、安全登山推進費支出を増額したのでこちらの事業費を活用していただきたいと補足。

飛田：振込手数料等の無駄な費用を無くすよう改善を願いたい。

◎第5号議案、提案通り承認。

(6)第6号議案 創立50周年記念事業募金及び事業計画(案)について

尾形事務局長より議案書に基づいて一連の記念事業内容について説明。

◎第6号議案、提案通り承認。

報告：

(1)公益社団法人化工程について

内藤副会長より平成25年12月1日から公益社団法人としてスタートするためのタイムスケジュールについて報告

(2)第49回全日本登山体育大会について

静岡県山岳連盟滝田会長より第49回大会の予報
(3)登山月報、日山協リーフレット、ジュニア登山教室について

本木副会長より登山月報への原稿依頼、日山協のリーフレット作成、ジュニア登山教室のポスター掲出について報告

(4)「山の日」制定について

内藤副会長より日本山岳会など山岳5団体で進めている「山の日」制定の報告

(5)ドーピング防止規程について

尾形事務局長より理事会で承認されたドーピング防止規程の改正について報告

以上について報告があった。

閉会：田中会長より長時間にわたりご審議ありがとうございました。50周年記念事業の募金活動へのご協力を重ねてお願いしたいと挨拶があり15時55分閉会した。

柳澤昭夫さん追悼文

柳澤昭夫さんを悼む

長野県山岳協会会長 宮本義彦

全国の岳人から『ヤナさん』と親しまれていた柳澤昭夫さんが、この三月亡くなられました。

残念で、今も涙があふれてきます。

葬儀には、全国各地から多くの方がお出でになり、松永敏郎、湯浅道男、松原繁さんらの弔辞がありました。生前の業績、人柄が語られ、惜しい人を失ってしまったことを参列者一同胸に刻みました。

柳澤さんは、強い登山家でした。そして強い登山家を育てるリーダーでした。

山岳協会
学省



中高年講習会での柳澤さん

長野県山岳協会会長を務めていただいたこの六年間、近くにいってこのことがよく分かりました。

『強い登山家』としての柳澤さんは、登山歴にみる
ことができます。私が紹介するまでもありませんが、
唐沢岳幕岩の開拓は広く知られているところです。あ
そこにある岩小屋『大町の宿』にお世話にならなかつ
たクライマーはいないことでしょう。また、ガウリ
サンカールやガンゴトリ山群の登山は、当時として
は新しい登攀思想がなければできないものでした。

『強い登山家を育てるリーダー』としては、文部省
登山研修所長としての業績が知られています。登山
のナショナルセンターを築き、多くの人材を育てら
れました。

強いというと、先鋭的など思いがちですが、柳澤さ
んの場合は本当の、とか良い、という意味になると思
います。ですから高峰の登攀だけではなく、里山歩
きにいたるまで登山全般にいえる言葉だと思えます。

強い（本当の、良い）登山に関して、柳澤さんと
の思い出がよみがえります。

長野県山岳協会の活動の中で、休暇がとれない厳
しい状況下で海外登山をどう推進するかという問題
を、二年間にわたり議論したことがありました。比較
的若手の協会役員は、「山岳協会が企画をして、隊員
を集める方式で実現を図り、多くの協会員にチャン
スを提供すべきだ」と主張しました。けれど柳澤会
長は同調せず、「登山は、自分で企画し、仲間をつ
くり、実行するものだ」と繰り返し疑問を呈されま
した。それでこそ強い（本当の、良い）登山ができ
るのだということを粘っこく教えてくれました。

また、山岳協会の指導委員会も遭難対策委員会も
自然保護委員会も医科学委員会も、もっと言えば協
会活動全体が、強い（本当の、良い）登山のため
にあるというのが、柳澤会長の持論でした。このこと
も、みんなの心にしっかり植え付けてくれました。

近年柳澤さんは、昭和初期の後立山の登攀の研究
をしておられました。自分の行ってきた登山を踏ま
えて、当時の記録がいかに強い（本当の、良い）も
のであったかという視点だったのではないでしょう

か。そして昨年夏、自らが館長をしていた大町山岳
博物館の企画展でそのまとめをされ、私たちに示唆
の多いメッセージを残してくれました。

昨年九月末の中部地区中高年安全登山指導者講習
会で、ロープを使って熱い講義をしてくださいました。
その後秋が深まってから、ベッドでの生活になって
しまいました。白く輝く北アルプスを眺めながら、
苦しさを表情に出さず山について語り、私たちのこ
とを最後まで心配してくださいました。

柳澤さん、教えていただいたことをたいせつにし
て、みんなで進んでゆきますから、安心して下さい。
私たちのこの決意をあなたに捧げます。

一月の
荒れ想わせる
鉛空
それでも我ら
山へと向かう

2010年4月10日

創立50周年記念事業募金のお願い

本年、日山協会は創立50周年を迎えました。この周年慶事を
迎え、本会では創立50周年を記念して様々な記念事業を展開
する予定しております。

つきましては、この記念事業を推進するにあたり、皆様方に
募金のご協力をお願いします。厳しい経済環境の中での募金活
動ですが、多くの方々のご支援を賜り、是非とも目標額を達成し、
記念事業を滞りなく展開したい所存です。ご理解ご協力のほど、
何卒宜しくお願い申し上げます。

創立50周年記念事業募金委員会 委員長 田中 文男

【目標額】500万円

【期間】2010年4月1日～2011年3月31日

【対象】個人：1口5,000円（なるべく2口以上でお願いします）
法人：指定なし

【払込み方法について】

みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 1323253

口座名「社団法人日本山岳協会50周年記念事業口」

（郵便局の郵便振替払込用紙を使われる場合は、口座記号・
番号：00110-5-546693、加入者名：社団法人日本山岳協会、
通信欄：50周年記念事業募金、とお書き下さい。）

※ご寄付いただいた方々に感謝し、寄附者のご芳名を
登山月報に掲載させていただきます。（ご希望により掲載しな
いことも選択できます。）

また、50周年記念ピンバッジを進呈させていただきます。

アウトドアスポーツ用 GPSレシーバー **ATLAS[®] ASG-1** 販売価格 14,800円(税込)

正確な位置情報があなたを助ける!

- 現在地の緯度・経度情報を表示
- 移動中の速度・高度・距離を表示
- 自動ログ機能搭載
移動ルートをパソコンに表示した
地図(Google Maps[™])上で確認できる!

株式会社 コピテル 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33
TEL 03-3769-2525 FAX 03-3769-2520
お問い合わせ先: アトラス事業部 山下まで
<https://atlas.yupiteru.co.jp>
※ご購入は弊社ホームページからアトラスクラブに加入(無料)し、直接購入もできます。



**ネパールに行くなら、-----+
風の旅行社にお任せ下さい。**

元々はネパールから始まった風の旅行社。ネパールに支店も構え
ています。専門知識と経験で、皆様をがっちりサポートいたします。

株式会社 風の旅行社
観光庁長官登録旅行業第1382号 日本旅行業協会(JATA)正会員
総合旅行業務取扱管理者 原/小宮山

〒165-0026 東京都中野区新井2-30-4 1F.0ビル 6F
TEL.0120-987-553 FAX.03-6328-5174
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスPLAZA3F
TEL.0120-987-803 FAX.06-6343-7518

URL <http://www.kaze-travel.co.jp/> e-mail info@kaze-travel.co.jp



第17回 Mountain World

春のヒマラヤ初登攀便り

池田常道

春のシーズン開幕を告げたばかりのネパールから、はやくも初登のニュースが飛び込んできた。米国隊によるタカルゴ (6771m) 初登頂と、ロシア隊によるチョラツェ (6441m) 北壁新ルート登攀である。昨年10月～11月のネムジュン西壁 (信州大)、ウェッジ・ピーク北壁 (英国隊)、タウツェ北壁 (Giri-Giri Boys)、さらに今年1月のタウツェ南壁 (米国隊) と、このところネパールの6000～7000m 峰はアルパイン・スタイルによる初登攀が続いて活況を呈している。

*

タカルゴは、ロールワーリン・ヒマールのテシ・ラプツァ (峠) の西にあり、1977年にイタリアのベンベヌート・ラリッティが登頂 (試登?) したともいわれるが、詳細は分からない。今回の米国隊はジョー・ピュリヤーとデヴィッド・ゴットリーブのペアで、2008年にカン・ナチュゴ (6735m)、09年にジョボ・リンジャン (6778m) にいずれも初登頂している。

二人は当初西壁を狙ったが、冬の名残のドライコンディションで氷雪の付着が不十分、落石の危険を嫌って東面の5700mにキャンプを移動、3月11日に登攀を開始した。東壁の真ん中を横切る懸垂氷河に上がってこれを左へ大きくトラバース、6400mでビバークした翌日、7ピッチの氷壁登攀で南の肩に出た。そこから頂上までは、雪底の張り出した長い稜線を往復しなければならなかった。強風と寒気



タカルゴ東壁～南稜、米国ペアの登攀ルート J・ピュリヤー提供



チョラツェ北壁、ロシア隊の新ルート Mountain.ru

に加えて高度の影響もあり、非常に消耗させられたという。

なお、彼らは登攀前の3週間でベディング周辺で過ごし、標高3400mから4200mの間に落ちているマルチピッチの氷を13本 (WI3～6) 登った。ピュリヤーによれば、ベディング周辺には約30本の氷柱が認められたという。

*

チョラツェ北壁を試みたのはワレリー・シャマロ以下5人のロシア隊だった。当初の目標は東稜との境目を形成する岩壁部でエル・キャピタン級のスケールを誇るものだが、状態がよくないためその左のミックス壁にラインを変えた。3月初めに登りはじめたが、壁のなかほどで紅一点のガリナ・チビトクが体調をくずしたためいったん退却。彼女はセルゲイ・コンドラシキンに付き添われて帰国することになった。残ったシャマロとアレクサンドル・ゲーコフ、ヴィクトル・コヴァルは13日に登攀を再開。東稜 (95年フランス隊が初登) 上部に抜けて20日頂上に立った。標高差1400mのルートで、グレードなどの詳細はまだ発表されていない。

《ピオレドール速報》

前号で5隊がノミネートされたことをお伝えした第18回ピオレドールは、(1)のチョー・オユーン南東壁と(4)の雪蓮峰西稜6422m峰北壁の2隊が受賞した。4月7日～10日にシャモニとクールメイユールで行なわれたイベントの最終日に発表された。審査委員長アンドレイ・シュトレムフェリは「これらの登攀は創造と探求という二つの要素を象徴し、現代のまた将来のクライマーの多くの示唆を与えた」と総括している。日本から谷口けいさんを含む6人の審査員の意見は一致し、決選投票を行なう必要はなかったという。

平成 21 年度競技委員会総会を開催

日時：平成22年4月4日10時30分～

会場：岸記念体育会館1階会議室

平成22年度社団法人日本山岳協会競技委員全国総会を下記の通り開催した。

出席者（敬称略）：田中文男会長、高山雅夫常務理事、北山真常務理事、寺内丈行常務理事、常任委員：仙石富英、有枝樹雄、稲田春男、大田忠行、川浦敏彦、木村伸介、京才昭、小日向徹、笹生博夫、佐藤豊、篠崎喜信、滝内壽一、土屋正昭、西嶋久貴、西原斗司男、堀之内幸子、松田龍彦、三森一男、目次俊雄、森茂、森庄一、森下健七郎、山本和幸都道府県山岳連盟（協会）競技委員：山納秀俊（北海道）、四戸義継（青森）、畠山晃（岩手）、氏家静雄（福島）、堀之内幸子（茨城・兼任）、佐久間利美（栃木）、大田忠行（群馬・兼任）、土屋正昭（埼玉）、目次俊雄（千葉・兼任）、西嶋久貴（東京・兼任）、森茂（神奈川・兼任）、山森政之（山梨）、稲田春男（新潟）、浮須由実（長野）、畑中涉（富山）、諸戸明（静岡）、佐原晴人（愛知）、戸田大輔（三重）、野村和弘（岐阜）、加藤宗利（京都）、飛田典男（大阪）、西原斗司男（兵庫・兼任）、森岡孝彦（奈良）、白子欽也（和歌山）、葉狩健一（鳥取）、妹尾東祐（岡山）、京才昭（広島・兼任）、古林善明（山口）、椎野（徳島）、樋口義朗（佐賀）、松崎文彦（長崎）

委任：吉田雄一（石川）、山中一睦（高知）、西森信二（福岡）、瀧石裕一（大分）、下村真一（宮崎）、中尾敏宏（鹿児島）、加藤道浩（沖縄）

会議に入る前に日山協田中会長より競技施設の拡大と競技者発展のため皆様の協力をお願いしたい。また国体競技としての評価は低いが、常任委員を始め全国の競技委員の力を結集し、日山協50周年を前にトレイルランを含め、様々な形の競技発展に寄与して頂きたい旨の挨拶があった。

続いて、高山競技委員長より、国体の新規則集を早急に作る必要があり、また、12月25～26日に予定している第1回全国高校生クライミング選手権（加須）には全国の山岳連盟（協会）より高体連と連携して多くの選手を出して欲しい。更に選手登録に関しても今後はブロック大会からも含める方向で考えて欲しい旨の挨拶があった。

松田常任委員より、本日の出席は委任を含めて39都道府県の参加があり、総会が成立している事が発表された。

議長は高山雅夫競技委員長が行い、第1号議案、滝内常任委員より平成21年度業務報告がなされ、全会一致で承認された。

第2号議案：平成22年度競技委員会業務計画について、説明があり、承認された。また、山本常任委員より、JOC参加選手が年々増え続けているが、各県での参加人数の割り当てでも必要としたい、その際、有力な選手については別枠で優先の出場を認める方向で進めたい旨発言があり、これも了承された。

第3号議案：第65回「ゆめ半島千葉国体」準備状況報告は、会場地の印西市国体担当の渡邊氏から挨拶があり、目次常任委員より千葉国体実施要項、及びリハーサル大会・リードジャパンカップ実施要項の説明を受けた。国体開催時には有料であるが、スポーツマッサージなどの導入も検討している旨、説明があった。国体会場へのトレーナー参加については、トレーナー制を用いていない県もあるが不公平ではないかとの意見もあったが、高山委員長より今後都道府県の体協などとトレーナー制を認めてもらうように各岳連単位で話をしたい旨説明があり、承認された。

第4号議案：次期開催県準備状況について、66回山口国体、67回岐阜国体のそれぞれの担当委員から説明があり、承認された。

第5号議案：日山協競技委員会の組織変更について、高山委員長より、三分割にすると事業内容で重なる部分等があり、より複雑になる事も懸念されるので、当面は現状の組織体制通りで運営して行く旨説明があり、承認された。

第6号議案：平成22年度からの国体山岳競技関係の確認及び変更点について、滝内常任委員より、千葉国体よりボルダリング競技時間を5分から6分に変更する説明があった。また、ルートセッター費用の明文化する件に関して高山委員長より説明があった。都道府県単位まで明記する必要があるかとの意見もあったが、反面、必要であるとした意見も明文化した方が予算が取りやすいとの意見もあった。ボルダリングの得点方法について山本常任委員より説明があり、これまでの2名の選手の合計ではなく、それぞれの選手の完登、アテンプト数により決定したい旨説明があり、またリード競技におけるクイックドロウの掛け方について基本的にはレジメイトポジションだが、万一上部を先に掛けた場合でもその場で動かずに掛けなおしをする事は可能である旨説明があった。競技運営委員規程については森茂常任委員より説明があった。その後、目次常任委員より他県の了解が得られれば千葉国体から採用することも可能である旨の説明があった。また、この規則に則って、ブロック大会からの採用については、当面決定はせず、これまで通りの採点方法か新

しい採点方法は各ブロックの判断に委ねる事とした。
「22年5月付けで新規則集の作成に入る」事が承認された。

第7号議案：日山協クライミング審判員・ルートセッター・競技運営員の認定と登録について森茂常任委員から国体運営研修参加者に関しては、所属山岳連盟（協会）長の推薦は講習会受講年度の4月1日を基準とする事。また、認定証に関しては事務の簡略化のためにも研修会終了後にその場で渡すことなどの説明があり、了承された。

第8号議案：日体協公認山岳指導員（スポーツクライミング指導員）制度について、日山協指導委員会永井委員長より説明があり、承認された。

第9号議案：競技者登録規程の改定及び登録料の値上げについて、寺内常務理事より日山協も財政的な問題を抱え、競技をより進めてゆくためには競技者人口を増やす事と共に、登録制度を見直し、できれば都道府県レベルの大会や、高体連の生徒達からも登録制をひき、日山協だけでなく、全国の岳連（協会）や高体連の資金的なアップに繋げて行きたい、

具体的な日程は決まっていないが、その方向性についてご理解を賜りたい旨説明があり、了承された。

第10号議案：平成22年度選手強化及び海外派遣選手選考について、北山常務理事より説明があり、承認された。

第11号議案：日山協50周年記念事業について、北山常務理事より第1回視覚障害者クライミング世界選手権（12月4～5日に千葉県習志野市）及び第1回全国高校生クライミング選手権（12月25～26日に埼玉県加須市）についての説明があり、承認された。

これに関して、高山委員長より全国47都道府県の内、35都道府県以上の参加について要請された。

第12号議案：日山協ドーピング防止規定について、西原常任委員より説明があり、承認された。

第13号議案：国体山岳競技地区別出場都道府県割当数について、高山委員長より説明があり、承認された。

午後3時15分全ての議題について承認され議事を終了した。

（文責：日山協常務理事 寺内丈行）



平成21年度3月（22年3月）

常務理事会議事録

日時 3月4日(木) 17:30～21:00

場所 岸記念体育会館103会議室

出席者 田中会長、内藤副会長、本木副会長、西内、佐藤、高山、堀井、尾形、北山、相良、寺内、永井、長谷川各常務理事、谷口

委任 中島、神崎副会長、仙石、青木常務理事

（17名中14名出席）

1. 専門委員会動静

2月常務理事会以降
（2月5日～3月3日）

〔報告〕

(1)指導委員会 2月8日(月)

出席者11名

ア 報告事項

- ・スポーツクライミング指導員養成講習会の養成について（22年度で計画）
- ・中国地方の合同検定について
- ・懸垂下降のロープ結束の問合せに対する回答について
- ・日体協のオフィシャルブックの訂正について
- ・氷雪技術研修会（大山）の事業主管の依頼について

・スポーツクライミング指導員養成講習会について

岩手：9月の実施で要確認、福井：了承、山梨：施設使用申込み済み

イ 平成22年度事業計画について

- ・講師養成研修会の実施申請
- ・指導員総会 6/12～13 東京
- ウ 登攀研修会（熊本）報告書について

エ 氷雪技術研修会（大山、2/27～28）について

予定参加者：53名、登攀組を編成しての行動について

オ 常任委員研修会（谷川岳、1/30～31）について

確保時の順手・逆手の調査

寄贈図書

●寄贈本●

宮城県山岳連盟創立60周年記念誌
Corean Alpine Club Annual Report
Vol.29
常北山水会山岳部 山の世界

●雑誌●

東京新聞出版局岳人 4月号
山と溪谷社 山と溪谷 4月号

ROCK & SNOW

中国登山協会 山野
新日本出版社 夏雲

●会報●

（勸）健康体力づくり事業財団
兵庫県山岳連盟
（勸）日本万歩クラブ
（勸）全日本ボウリング協会
（勸）国立スポーツ科学センター
横浜山岳会
（勸）日本ゲートボール連合
（勸）国立公園

（社）日本武術太極拳連盟

（勸）日本体育協会
F E E C
岩手県山岳協会 参与会
群馬県山岳連盟
日本ヒマラヤ協会
愛知県山岳連盟
長野県山岳協会
やまびこ山想会
日本勤労者山岳連盟
東京野歩路会
岡山県山岳連盟
新潟県山岳協会

（社）日本山岳会

山梨県山岳連盟
（勸）日本卓球協会
大阪府立体育会館
（勸）全国高等学校体育連盟登山部
信州大学山岳科学総合研究所
（社）日本カヌー連盟
（社）日本山岳会 自然保護委員会
六つ星の会
日本山岳写真協会
（勸）京都府体育協会

あなたの保険は、 安心して登山ができる保険ですか。

自分だけは安全、と思いがちですが、
年間遭難者数は約2,000人です。

■平成20年 山岳遭難の概況

(警察庁生活安全局地域課 平成21年7月3日)

発生件数 **1,631** 件

遭難者数 **1,933** 人

死者・行方不明者 **281** 人

詳しくは → www.jma-sangaku.org

お問い合わせは

日本山岳協会 山岳共済会

事務委託：日本山岳協会山岳共済事務センター
月～金 10:00～17:00 (土・日・祝日除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707
TEL：03-5958-3396 FAX：03-5958-3397
E-mail: sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

- 登下降時のピッケルの持ち方の確認
- (2)海外委員会 2月11日(木)
出席者13名
ア 50周年記念事業のJAC海外委員会との合同委員会について
- (3)自然保護委員会 2月16日(火)
出席者11名
ア 平成22年、23年度自然保護委員会活動及び委員総会について
イ 大台ヶ原における日本シカ個体数調整に関わる試験の実施状況について
ウ 50周年記念事業に向けた取り組みについて
- エ トレイルランの実態調査について
- オ 野生鳥獣目撃レポートについて
カ 6団体協議会報告
キ 22年度委員総会打合わせ報告(新潟山岳協会)
- (4)競技委員会 2月18日(木)
出席者18名
ア 2月常務理事会報告
「第1回全国クライミング高校生大会」を50周年記念事業で開催する件について
イ ブロック研修会の実施報告について
ウ 第6回アイスクライミング・ジャパンカップの実施結果について
エ 第6回山岳スキー競技選手権大会の進捗状況について
オ 後催県の準備状況について
・千葉：2/2に印西市松山下公園総合体育館を視察。
・山口：計画輸送と最終日のマイカー利用の問題、ほか。
・長崎：大村高校に4月末にリード壁完成。
- カ 競技運営員、C級クライミング審判員の認定登録方法の変更について
キ 平成22年度競技委員総会に向けての役割分担について
4月4日(日) 10:30～16:00
会場：未定
- (5)遭難対策委員会 2月24日(木)
出席者6名
ア 積雪期レスキュー講習会のアンケート結果について
イ 「トムラウシ遭難事故を考える」シンポジウムの出席者について

- 遭難対策委員会から6名出席
ウ UIAA STANDARDの英国への調査について
エ 平成22年度のレスキュー講習会の開催場所を国立登山研修所と決定
- (6)広報委員会 2月26日(金)
出席者7名
ア 登山月報3月号について
イ HPについて
直帰率、滞在時間がリニューアル後に改善された。
HP内容について各委員会の要望を聞く。
- ウ その他
(7)普及委員会 2月26日(金)
出席者6名
ア ジュニア登山教室について
イ 中高年安全登山指導者講習会の内容について(山梨、広島)
ウ 全日本登山体育大会(静岡)の内容について

2. その他の重要事項

(2月4日～3月3日)

【報告】

- (1)生涯スポーツ全国会議2010
2月4日(木)
於：さいたま市・浦和ロイヤルパレスホテル 中川事務局員
- (2)第6回アイスクライミング・ジャパンカップ
2月6日(土)～7日(日)
於：群馬県川場村 佐藤、寺内常務理事
- (3)第48回海外登山技術研究会
2月10日(水)～11日(木)
於：国立オリンピック青少年センター
田中会長、神崎副会長、青木、尾形常務理事
- (4)平成21年度山岳遭難対策中央協議会幹事会 2月15日(月)
於：文部科学省
西内常務理事、中川事務局員
- (5)クライミングジム(パンプ・内藤直也氏)との協議 2月18日(木)
於：新宿中村屋
内藤副会長、尾形常務理事
- (6)日本勤労者山岳連盟第29回総会
2月20日(土)
於：晴海グランドホテル
田中会長

- (7)平成21年度評議委員会
2月21日(日)
於：主婦会館プラザエフ
田中会長他常務理事14名、監事2名、評議員39名
- (8)川崎深雪さん「山と渓谷」、「ヤマケイJoy」を励ます会
2月26日(金)
於：アルカディア市ヶ谷
田中会長、尾形常務理事
- (9)IFSC総会 2月27日(土)
於：インドネシア・バリ
北山常務理事、小日向常任委員
- (10)「トムラウシ遭難事故を考える」シンポジウム 2月27日(土)
於：神戸市・王子公園動物園ホール
内藤副会長、西内常務理事ほか(一般参加者298名、役員30名、報道10名)
- (11)50周年記念バルドール・ピーク登山隊打合わせ
2月27日(土)～28日(日)
於：谷川岳山岳資料館
尾形常務理事、八木原隊長ほか
- (12)氷雪技術研修会
2月27日(土)～28日(日)
於：大山 鈴木常任委員
- (13)神奈川大学7大陸最高峰登山達成記念祝賀会 2月28日(日)
於：横浜市・ロイヤルパーク・ホテル
田中会長、堀井常務理事

3. 議事

- (1)平成21年度2月常務理事会議事録の承認について(提案通り承認)
- (2)平成21年度評議員会議事録の承認について(簡略化した内容にすることで承認)
- (3)平成21年度第2回理事会の開催と運営について(一部議題修正で承認)
- (4)平成21年度臨時理事会の開催と運営について(提案通り承認)
- (5)JOC新法人移行に伴う最初の評議員候補者の推薦について(現評議員を候補者として推薦する事で承認)
- (6)平成22年度日体協公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者の推薦について(事務局預かりで承認)
- (7)平成22年度日体協公認スポーツドクター養成講習会受講者の

(社)日本山岳協会・日本勤労者山岳連盟創立50周年記念
UIAA登山者教育のスタンダードを学ぶ
「UIAA(国際山岳連盟)登山委員
スティーブ・ロング氏講演会」



30年以上にわたり登山者教育に関わっているスティーブ・ロング氏は、英国登山リーダー教育機関の代表で、UIAA登山委員会の登山指導の標準化グループの代表を兼ねている。現役のトップクライマーに登山リーダー教育と英国登山事情について講演していただく！

東京講演会 5月30日(日) 14:00～
早稲田大学国際会議場(井深大記念ホール)
札幌講演会 6月1日(火) 18:30～
札幌エルプラザ(3Fホール)
大阪講演会 6月5日(土) 18:00～
エルおおさか(南ホール)
入場券代 500円

申し込み・問い合わせ先:(社)日本山岳協会・日本勤労者山岳連盟創立記念講演会実行委員会

■東京講演担当
(社)日本山岳協会
TEL:03-3481-2396 FAX:03-3481-2395
日本勤労者山岳連盟
TEL:03-3260-6331 FAX:03-3235-4324

■札幌講演担当
北海道山岳連盟(総務委員長) 神山健
TEL・FAX:011-583-6857
kamiken@jcom.home.ne.jp
北海道勤労者山岳連盟
(道央地区勤労者山岳連盟理事長) 松浦孝之
TEL・FAX:011-823-9759
takayuki.matsu@nifty.com

■大阪講演担当
大阪府山岳連盟
TEL:06-6973-3675 FAX:06-7504-4214
yamaosaka@hera.eonet.ne.jp
大阪府勤労者山岳連盟 owaf@jwaf.jp
TEL:06-6972-2057 FAX:06-6972-2058

主催:(社)日本山岳協会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
日本勤労者山岳連盟 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

- 推薦について
(医科学委員会一任で承認)
- (8)神奈川県山岳連盟からの質問・要請について
(指導委員会と事務局で対応する事で承認)
- (9)報告事項
ア 生涯スポーツ全国会議2010報告
イ 平成22年度中高年安全登山指導者講習会の開催概要について
ウ 千葉県国体施設認定について
エ IFSC総会報告について
オ 自然公園指導員自然環境局長表彰候補者として宮崎良平氏(高知)を推薦
カ 自然公園関係功労者環境大臣表彰候補者として植草勝久氏(千葉)を推薦
キ 平成22年度年間スケジュールについて
ク 50周年記念事業準備状況について

4. 役員等の派遣について

- (1)財自然公園財団理事会
3月16日(火)

- 於:法曹会館 田中会長
(2)「山の日制定」打合わせ
3月17日(水)
於:JACルーム
本木副会長、尾形常務理事
(3)自然保護委員総会打合わせ
3月20日(土)～21日(日)
於:新潟市 長谷川常務理事
(4)冰雪技術研修会
3月20日(土)～22日(月)
於:富士山
永井常務理事、切嶋常任委員ほか
(5)財日本体育協会評議員会
3月24日(水)
於:岸記念体育会館 田中会長
(6)第6回山岳スキー競技選手権大会
4月10日(土)～11日(日)
於:長野県・桧池高原
本木副会長、寺内常務理事
(7)平成21年度神奈川県山岳連盟代議員会
4月20日(火)
於:横浜市・県民活動サポートセンター 田中会長
(8)第61回全国植樹祭 5月23日(日)
於:南足柄市足柄森林公園丸太の森地区及び県立秦野戸川公園地区 田中会長

5. 後援、協賛等の依頼について

- (1)“Himalaya-ChangingLandscape”写真展共同開催(HAT-J)(承認)
(2)第16回クライミング・コンペ・オール神奈川の名義後援(承認)
(3)スポーツサイエンス・テクノロジー2010の協賛名義(承認)

6. 報告

- (1)自然保護指導員の承認
愛知 1名、埼玉 1名
(何れも4月の認定)(承認)

【50周年記念募金協力者ご芳名】
60口・田中文男、10口・堀井昌子、2口・小野倫夫

登山月報 第493号

定価 100円(送料別)
予約年間1、200円送料共
昭和45年12月12日
第三種郵便物認可
(毎月一回15日発行)

発行日 平成22年4月15日
発行者 東京都渋谷区神南1の1の1
岸記念体育会館内
社団法人日本山岳協会

電話 03-3481-2396
FAX 03-3481-2395